

マーケティングを変える？ ChatGPTの仕組みと機能

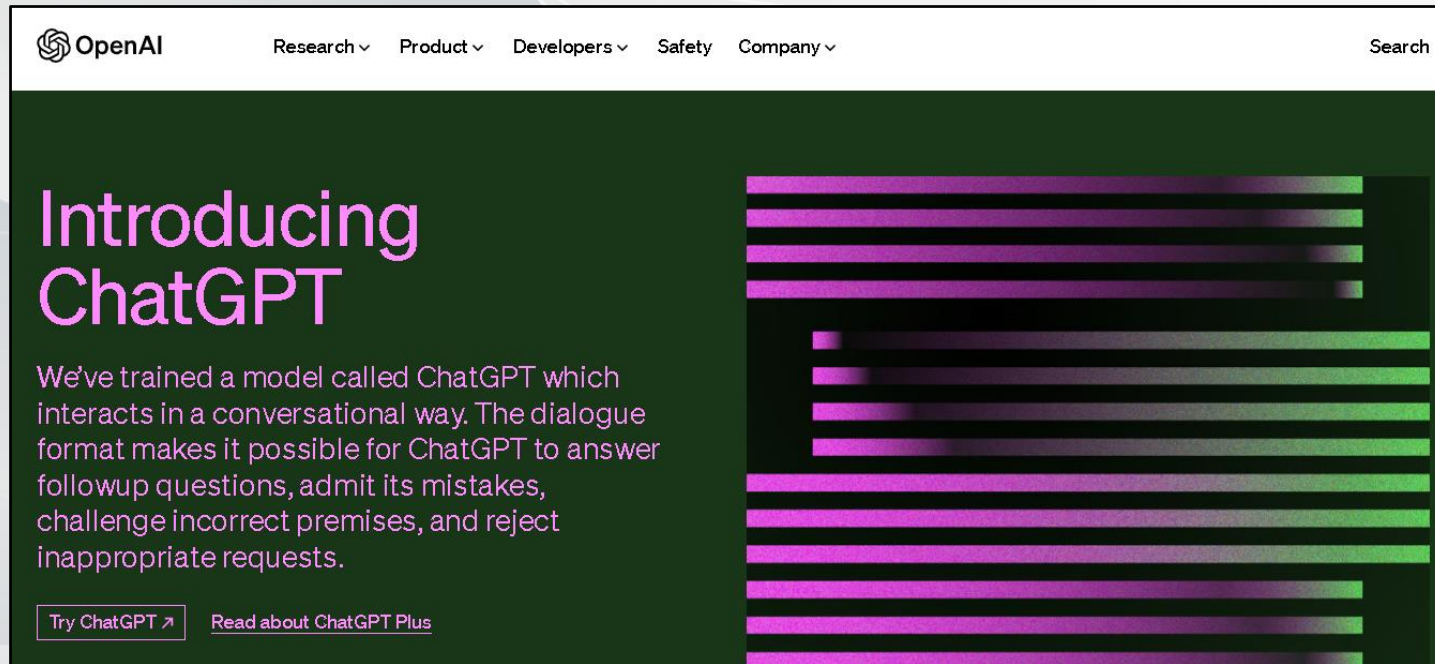
具体的に何ができる？ 従来のチャットボットとの違いは？

※講座画面

ChatGPTとは？

ChatGPTは、OpenAI社（アメリカ・カリフォルニア州）が提供している**AIチャットサービス**です。回答の精度の高さ、対人のコミュニケーションとほぼ変わらない自然な会話が話題・人気を集め、サービス開始からわずか2カ月でユーザー数が1億人を突破しました。

現在はより精度を高めた最新バージョン「**ChatGPT-4**」がリリースされています。日本語にも対応しており、公式サイトからアカウント登録することで利用可能です。



<https://openai.com/blog/chatgpt>

※講座画面

ChatGPTの主なトピックス

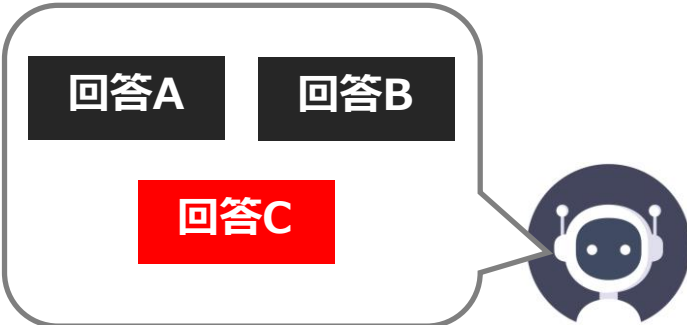
2022/11/30	ChatGPT（プロトタイプ）サービス開始。
2022/12/04	全世界のユーザー数が 100万人突破 。
2022/12/23	GoogleがChatGPTの脅威にコードレッド（ 緊急事態 ）を宣言。
2023/02/06	前月までに全世界のユーザー数が 1億人突破 したと発表。
2023/03/15	ChatGPT-4がリリース。
2023/03/31	イタリア政府がChatGPTへの アクセスを禁止 。
2023/04/10	OpenAI社CEOのサム・アルトマン氏が来日。

デジタル領域のサービスで
史上最速

※講座画面

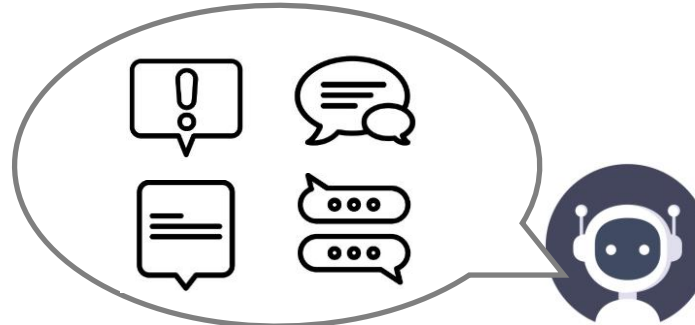
従来のチャットボットとどう違う？

シナリオ型チャットボット

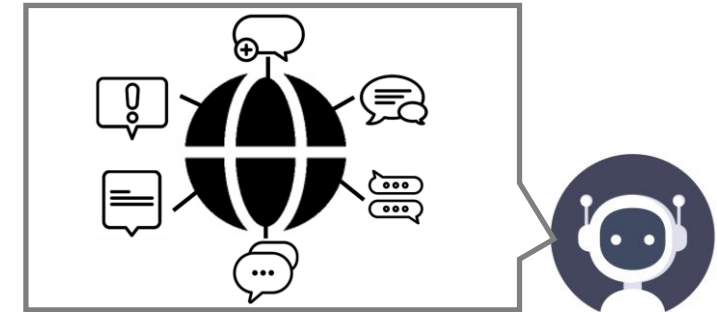


用意された選択肢から回答。

AI搭載型チャットボット



ChatGPT



従来のシナリオ型チャットボットやAI型チャットボットは、人が用意したシナリオ、選択肢、学習データから回答を選択するのに対し、ChatGPTは**Web上の膨大な情報を自ら収集・学習し、自然言語に変換して回答を提示**します。

ChatGPTが収集する情報のなかには、Webサイトの記事・文章のほかソースコードやプログラミング言語も含まれます。

※講座画面

従来のチャットボットとどう違う？

従来のチャットボット

シナリオや
学習データの用意

質問の分岐や
類義語の作成

精度のテスト
チューニング

ChatGPT

シナリオや
学習データの用意

質問の分岐や
類義語の作成

Web情報の
収集・学習

本運用

人の手を介した準備、助走期間なしに
スムーズな運用スタートが可能。

※講座画面

ChatGPTができること

1 質疑応答



膨大なデータを学習するChatGPTとの質疑応答は単なる受け答えにとどまりません。

「〇〇したいけど△△もあるし、□□だからどうすればいい？」といった複雑な問いかけに対しても**文脈を捉え、人との会話と変わらない自然な語句、表現で回答**します。

うまく活用すれば顧客満足度の向上や問い合わせコストの削減につながるはずです。

主な利用シーン

- ネットショップなどのカスタマーサポート
- 社内FAQ、社内手続きのガイダンスなど

※講座画面

ChatGPTができること

2 テキストの要約・翻訳



ChatGPTに文章を貼り付け「要約して」「要点は?」といったメッセージを併記すると、全体の**コアとなる部分を抜粋したテキストが自動出力**されます。また、英語や中国語といった主要言語の**翻訳**も可能です。

ちなみに要約については文字数が3,500文字を超えるとエラーメッセージが表示されることがあります。長文を要約したい場合は適度なボリュームで区切りましょう。

主な利用シーン

- 長文レポートの読解、資料をもとにしたリサーチ
- 議事録・日報の作成、メールの翻訳など

※講座画面

ChatGPTができること

3 テキストの生成



Webの膨大なデータをもとにテキストを自動生成できるのはChatGPTのとりわけ大きな特徴の1つ。テーマなどを指定するだけで**小説や動画の脚本といったストーリー性のある文章も形にします。**

知財関連法に留意してチェックする必要がありますが、クリエイティブ関連業務のリソースに課題を抱えている企業などにとっては、心強い機能になるはずです。

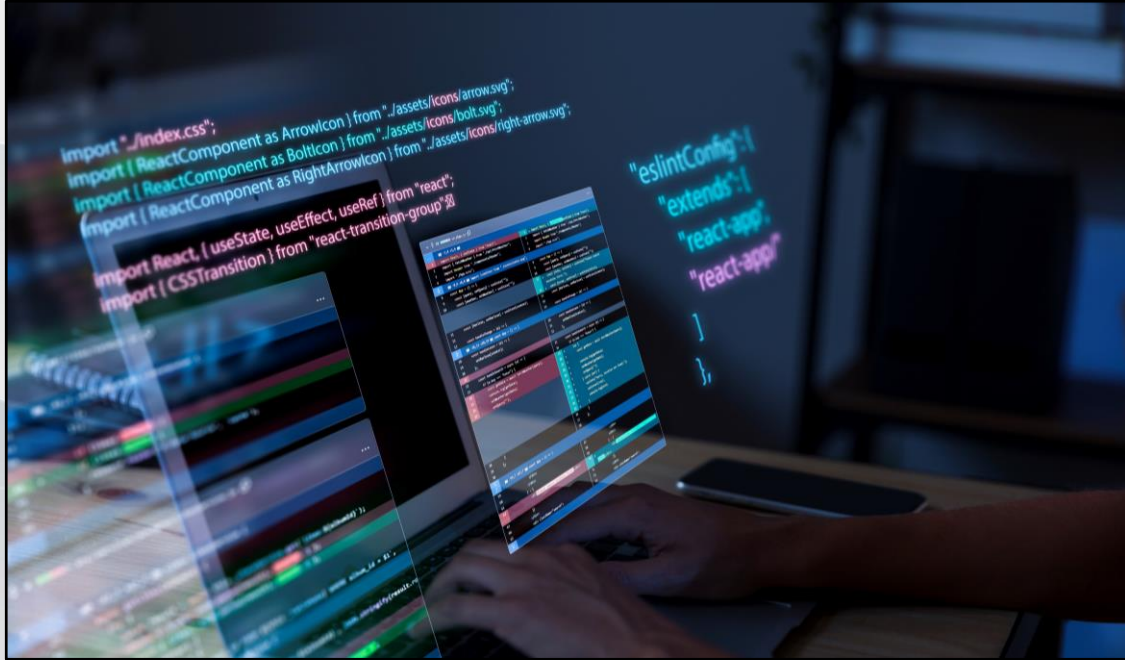
主な利用シーン

- コンテンツSEOにおけるたたき（ラフ案）の作成
- 商品やサービスのコンセプト、広告文の立案など

※講座画面

ChatGPTができること

4 表計算、プログラミング言語の記述



ChatGPTは文章とあわせ関数やプログラミング言語まで学習対象としており、ユーザーの指示にあわせてマクロの**計算式**、**C言語**や**HTMLのスクリプト**を生成します。

また、既存のプログラム、ソースコードを読み込ませ、**バグ**、**問題点を抽出**することも可能です。

使い方次第ではエンジニアリング費用の削減にも効果を発揮するでしょう。実際のところ、アプリ開発などへの利用も見込まれているようです。

主な利用シーン

- ✓ 集計シートなど、業務用ツールの開発・改良
- ✓ テクニカル（内部）SEO対策、アプリ開発など

※講座画面

まとめ

ChatGPTとは？

- ✓ Web上のデータを参照・学習するAIチャットサービス。
- ✓ シナリオ作成などの手間を省きスムーズな運用スタートが可能。
- ✓ 精度が高く、人との会話とほぼ変わらない自然言語で回答する。

できること

- 1 質疑応答
- 2 テキストの要約・翻訳
- 3 テキストの生成
- 4 表計算、プログラミング言語の記述

※講座画面